

メルマガ Vol.2

2019年8月6日

大会長 大橋 昌資

(医療法人啓夏会 響ストレスケア～こころとからだの診療所 理事長・院長)

協会の皆様、梅雨明け前線も北上し酷暑となる地域も多くなるなか、お忙しくお過ごしのことと存じます。

2020年4月25日(土)と26日(日)に、山梨県甲府市にて開催の、第3回日本うつ病リワーク協会年次大会山梨大会の第2回メルマガです。今回は、予定している開催内容を告知させていただきます。

今回の大会テーマは「うつを生きる、再考～医療リワーク継続のために」とさせていただきました。私たちは、抑うつ状態で休職せざるをえなくなった患者さんを、治療をしていきますが、そこには、うつ病患者さんの生き様があります。また、疾患の特性として、時代とともに、うつそのものが多様化、非定型化してきています。医療リワークに携わるものとして、「うつを生きる」を、改めて考えてみることは、プログラムの継続、医療リワークの深化に役立つと考え、大会の基調となる**特別講演**を「うつを生きる」の生みの親である、**もみじヶ丘病院の芝伸太郎先生**にお願いしました。

特別講演 「うつを生きる、再考」

座長 鷺塚伸介 信州大学医学部附属病院 精神科

演者 芝伸太郎 特定医療法人福知会 もみじヶ丘病院

シンポジウムは、リワークで用いられる技法についての先駆的な試みをされている先生方にご登壇頂くものと、各地でクリニック、病院、大学、と異なる環境でリワークを継続されている先生方にご登壇頂くものとの2つを企画しています。

シンポジウム1「様々な治療技法（仮）」

シンポジスト

柿崎 崇 小澤こころのクリニック

北川信樹 医療法人ライブフォレスト 北大通こころのクリニック

能勢隆宏 特定医療法人十全会 十全病院

シンポジウム2「医療リワークの継続の工夫（仮）」

シンポジスト

山本眞弘 和歌山県立医科大学 神経精神医学教室

佐々木一 医療法人社団爽風会 心の風クリニック

浅井慶介 総合診療センターひなが

一般の方への啓蒙として、心理療法、認知行動療法、集団認知行動療法などについて多数のご著書のある、臨床心理士である中島美鈴先生を講師にお招きし、公開講座を開催します。山梨で、中島先生のお話を聞けるのは、リワーク、うつ病に関わる全ての方にとって有用な事と考えお願い致しました。

市民公開講座「演題未定」

座長 岡 敬 特定医療法人十全会 十全病院

演者 中島美鈴 九州大学大学院人間環境学府

今年の福井大会でひととき熱気を帯びていたのが、一般演題の口頭発表会場でした。今年以上の演題のご応募がある事を願っております。また、富士山を眺められる会場での、ポスター発表も募集予定です。奮ってご応募下さい。

口頭発表

座長 後藤剛 社会医療法人二本松会 山形さくら町病院

座長 小澤政司 小澤こころのクリニック

そして、おそらく初日の午前中になりますが、リワークのレジェンド達による講演、ディスカッションを企画しました。リワークの基本から、根本的な考え方、今後の展開、など初心者から経験豊富な方まで、参考になるセッションだと思います。また、リワークの歴史の中での、意外なこぼれ話のようなものも聞けるかも?!です。

教育セッション

特別対談「医療リワーク、黎明期から発展期へ（仮）」

座長 佐久間啓 社団医療法人 あさかホスピタル

横山太範 医療法人社団心劇会 さっぽろ駅前クリニック

演者 秋山 剛 NTT 東日本関東病院
五十嵐良雄 医療法人雄仁会 メディカルケア虎ノ門
尾崎 紀夫 名古屋大学医学部附属病院
徳永雄一郎 医療法人社団新光会 不知火病院

以上のような内容を企画し、調整を行っております。

ご登壇頂く先生方には、準備などで大変お世話になります。お力添えに感謝致します。

また、当院は多職種の職員5人と医師は私のみ、という零細クリニックです。それゆえに多くの力添えをいただかないと大会が運営出来ません。おおよそ1日30~40名の運営スタッフが必要になります。小澤こころのクリニック、あさなぎクリニックなど県内及び近隣の神奈川、千葉、群馬などのリワーク施設に運営スタッフの派遣をお願いしております。合わせて、お礼申し上げます。

おもてなし、懇親会などについても準備を進めております。ゆるキャラ、山梨の名産品、鏡割り、シャンパンファイブ？ビンゴ大会？など参加いただいた方にもお楽しみも頂ける大会にしていく所存です。

何卒、多くの皆様に、山梨までお越し頂けるよう、よろしくお願い申し上げます。